

平成31年度から使用する中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書

採 択 参 考 資 料

平成30年6月

北海道教育委員会

目 次

は し が き

特別の教科 道徳 道徳1～道徳101

は し が き

1 作成の趣旨

本資料は、北海道教育委員会が、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律182号）」第10条の規定により、北海道内の市町村教育委員会並びに国立及び私立の義務教育諸学校の校長が、平成31年度から使用する中学校用教科用図書の採択を行うに当たっての参考に供するため、「平成30年度北海道教科用図書選定審議会」の意見を求め、また、同審議会に置かれた調査員の調査研究に基づいて作成したものである。

2 調査の対象

本年度、北海道教育委員会に見本の送付があったのは、「中学校用教科書目録（平成31年度使用）」に登載された1種目（道徳）、8種30点である。

3 資料の内容

本資料は、各教科書の特色や違いが明らかになるよう学習指導要領の目標や内容等に基づく調査研究を行い、次のような内容となっている。様式2～4については、発行者の番号順に整理した。

① 様式1

学習指導要領に示されている「特別の教科 道徳」の目標や内容項目、学習指導要領の改訂の要点等を記載した。

② 様式2

各教科書の特徴について、別に示す「調査研究の観点」に基づいて文章で記述した。

③ 様式3

学習指導要領に示されている「特別の教科 道徳」の目標や内容等を踏まえ、客観的な数値データを示す調査項目とその主な理由を記述した。

④ 様式4

様式3で示した項目を数値で記載した。

⑤ 別記

様式4で示した数値の根拠として示すことのできる内容を記載した。

4 資料活用の留意事項

- 様式2と様式4は、補完の関係にある。

- 様式3における調査項目は、数値データとして示すことが可能なもののうち、必要と思われるものを記述した。

- 様式4については、各採択地区において学習指導要領の目標や内容等を踏まえ、それぞれの地域の実態などに応じて、1種を選定する際の参考とするため、客観的な数値によるデータ化を図ることにより各教科書の特色や違いを明らかにしたものであり、数値の多寡が教科書の優劣を示すものではない。

- 本資料のほか、「教科書編修趣意書」及び「教科書見本」を参考にし、十分に調査研究をされたい。

【調査研究の観点（様式2）】

平成31年度から使用する中学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書調査研究の観点

1 「取扱内容」について

- (1) 学習指導要領の第1章総則及び第3章「特別の教科 道徳」の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。

2 「内容の構成・排列、分量等」について

- (1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。
- (2) 内容の分量が、内容の視点ごと等、全体としてどのようになっているか。

3 「使用上の配慮等」について

- (1) 学習の振り返り等を通して、学習意欲を高める工夫がされているか。
- (2) 家庭や地域と連携し、学習に取り組めるよう工夫されているか。
- (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。

4 「その他」について

上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。